

1. 評価結果概要表

平成 19年 10月 13日

【評価実施概要】

事業所番号	2070200874		
法人名	社会福祉法人 七つの鐘		
事業所名	つりがね草		
所在地	長野県松本市野溝806番地 (電話) 0263-24-2700		
評価機関名	株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室		
所在地	長野県松本市深志3丁目7番17号		
訪問調査日	平成19年10月10日	評価確定日	平成19年12月6日

【情報提供票より】(19年 9月 10日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14年 11月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤8人	非常勤0人 常勤換算8人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋2階建 造り		
	2 階建ての	1・2 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000 円	その他の経費(月額)	18,000 円
敷 金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,000 円

(4) 利用者の概要 (9月 10日 現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名	
要介護1	1名	要介護2				
要介護3	6名	要介護4	2名			
要介護5						
年齢	平均	82 歳	最低	69 歳	最高	89 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	森本医院・城西病院
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

グループホーム周辺には田畑があり田園風景の先には北アルプスが望め、その景観と隣接地には1日中元気一杯はじけるような声が聞かれる保育園や古民家があり、家族の温もりが伝わってくるような環境の中にグループホームつりがね草があります。グループホーム創設にあたり施設長が探し求めていた地域環境のなかで、社会福祉法人七つの鐘を母体に持ち「七つの鐘の基本理念」親切・誠実・清潔・協調・公正・明朗・創意をもとに具体化されたホーム理念のもと、入居者は自由に、明るく、ゆったり、落ち着いた生活が送られています。経験によって蓄えられた知識や技(昔取った杵柄)を活かし豊かな日常生活が営まれています。これも地域の中で触れ合える環境と日常の職員の献身的な見守りや支援の成果と思われれます。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 事故や火災等緊急事態に向けマニュアルが作成され消防署の協力を得て避難・消火訓練や通報や夜間呼び出し訓練が行われている。全職員による訓練により緊急事態への対応に備えられている。地域の行事や公民館活動に入居者、職員共に積極的に参加し交流が図られホームへの理解が得られている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価及び外部評価の意義や目的を職員全員で理解をし、全職員で評価に取り組みされている。外部評価の結果をミーティングで話し合わせ、サービスの質の向上に努められている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は、入居者、ご家族、地域住民等幅広い立場の方々が参加し、会議の意義や役割を説明して積極的に関わって頂いている。入居者の現況をお知らせすると共に、その都度テーマ(防災の問題点について、協力体制・設備対策・防災訓練等、また会議出席者の役割と協力体制・ご家族からの意見、要望等)を検討して頂きテーマに沿って話し合いが持たれている。会議録を全職員に報告し、今後のケアの質の向上に取り組まれている。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
重点項目③	契約時に重要事項説明書に記載されている苦情・相談窓口の説明をされると共に、運営推進会議や家族会において気軽に意見をだせる場づくりが努められている。またご家族には毎月入居者の現況報告をされたり、訪問時お話を聞き相談等にのられている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の行事や公民館活動に入居者、職員と一緒に積極的に参加されると共に、隣接する保育園との定期的な交流会を楽しまれたり、小学生の通学途上にあるホームへ小学生が気軽に立ち寄られている。小学校より「子供を守る安心の家」の指定証を頂き看板が設置されている。今後小学校の文化祭にも参加される予定もお聞きした。なお毎日の楽しい外出(散歩・買い物等)により地域の方々との出会いや交流が持たれている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	母体施設の理念と別にホーム独自の地域密着型サービスの意義が盛り込まれた理念がホーム玄関や要所要所に掲げられ全職員が認識を持って献身的に入居者の支援に当たられている。(掲げられた理念を前に立ち止まれている入居者に、職員が優しく説明されていた)		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム理念が管理者・全職員と共に話し合わせ作り上げられており、理念の共有が図られ日々のサービスの提供場面に実践される取り組みが行われている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事や公民館活動に入居者、職員と共に積極的に参加されている。また隣接する保育園との定期的な交流会(誕生会、カレー会、豚汁会等)や、小学生の通学途上にあるホームへ小学生が気軽に立ち寄られる等交流を持たれている。なお地域の防災訓練や一斉清掃に管理者、職員が参加し交流を深める取り組みがされている。	○	「子供を守る安心の家」の指定証を小学校より頂き看板を設置されている。小学校よりの要望もあり、今後文化祭に参加される等交流を図って行かれる旨を伺った。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己・外部評価の意義を全職員が理解し、全職員で自己評価が行われている。サービス評価を活かし、確実な質の向上に取り組まれている。(評価により気づきが向上すると共に自己啓発につながった事を伺った)		

グループホームつりがね草

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議を3～4ヶ月に1回の頻度で開催し、出席者(入居者、ご家族、管理者、職員、市役所職員、民生委員、隣組代表者、介護派遣相談員、消防署員等)多数によりテーマを決められ話し合われている。ホームの現況報告を行うと共に会議録を全職員に報告し、今後のケアの質の向上に取り組まれている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域密着型サービス創設にあたり都道府県による指定から監督等が市町村に委嘱され市町村との連携が図りやすくなり、市担当職員よりの連絡や助言が得られている。なお市からの派遣介護相談員の月2回の訪問により、意見を聞かれサービスの質の向に反映されている。	○	今後更に市町村との連携を図られると共に、専門知識と経験を活かされ認知症予防教室の開催に向け積極的に受諾し地域に貢献されて行かれる取り組みに期待します。
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の利用料請求時にホームでの暮らしぶりや次月の予定を報告される等、また必要時には電話連絡もされている。年4回新聞を発刊し、新入職員の紹介や異動・退職職員の報告がおこなわれている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族面会時に現況報告や意見・要望を聞く努力がされると共に、家族会において第三者委員との面談のおり職員が席をはずされる等意見の表出への配慮がされている。出された意見や要望についてはミーティングで話し合わせ、入居者のサービスに反映されている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	管理者は入居者と職員との馴染みの関係を重視されており、本部へ職員の異動は最小限にと依頼されている。やむを得ず異動や離職をされる場合には、入居者に理解をいただけるようお話をすると共に開所時よりの馴染みの職員による支援により、異動等の影響への配慮が図られている。		

グループホームつりがね草

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の経験や習熟度によって研修に参加されている。ホームでの勉強会で研修報告を行い全職員の質の確保、向上に取り組まれている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会に参加されると共に電話連絡にて情報交換をし交流が図られている。	○	今後更に同業者との交流と情報交換により、サービスの質の向上に繋げていかれる旨を伺った。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居者、ご家族による施設見学や体験入居の機会が設けられ、他の入居者や職員、ホームの雰囲気のなかで共有時間を過ごされ、人間関係を築かれる工夫がされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	馴れ親しんだ地域で暮らし合う中入居者の思いや苦しみ、不安、喜びを察知し、共に支えあえる関係の構築に配慮し支援されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員は日頃より入居者一人ひとりの思い、希望、意向の把握に努められ、その人らしい生活支援ができる視点を持たれている。また常に入居者本位の日常生活が営めるよう心配りをし検討されている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者が地域でその人らしく暮らし続けるための個別介護計画がセンター方式を使用し作成されている。全職員で介護計画作成に関わり、入居者やご家族の思いや、意向を取り入れた入居者本位の介護計画が作成されている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	全職員で入居者の状況を把握し、情報を確認してカンファレンスに活かされている。期間が終了する前に見直されると共に状態変化により変更が必要な場合にはご家族に連絡をし、入居者、ご家族の意向を取り入れ臨機応変な見直しも行われている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	認知症の進行により重度化していく状況の中で入居者、ご家族と相談をしながら必要なサービスを臨機応変かつ柔軟に支援される努力がされている。		

グループホームつりがね草

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者、ご家族の希望される主治医に決められており、通院は主治医が遠方の為ご家族対応者と、近隣の内科医による往診を月2回受けられている入居者もいる。なお主治医との連絡や連携を取り適切な診療が受けられると共に緊急時の対応や入院時の送迎が行われている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に重度化や終末期の対応について入居者、ご家族と話し合われている。ホーム対応が困難時には特養入所ルート確保による支援の用意があり入居者、ご家族の安心と安全が確保されている。なお入居者の状況と状態によっては看取りも考慮されていることを伺った。	○	入居者の重度化やターミナルについてご家族の思いを尊重され、医療機関との連携やご家族との協力を得ながら事業所のできる最大の支援を具体化し対応されて行かれる取り組みに期待します。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	全職員がプライバシー保護に関する個人情報保護法について理解されており、日常生活の中で配慮されている。	○	今後更に集団生活の中でプライバシー保護について常に職員間で共有が図られる取り組みに期待します。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的なホーム生活の流れはあるものの、入居者主体の時間を過ごされる配慮がされている。なお入居者の状態に合わせた柔軟な支援も行われている。	○	職員間で工夫して、常に入居者の状態や思いに合った柔軟な対応を望みます。

グループホームつりがね草

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事に関する一連の作業(買い物、調理、盛り付け、配膳、後片付け等)を職員と共に行い、同じテーブルで同じ食事を楽しい雰囲気の中で食されている。(入居者のアドバイスを頂きながら職員と一緒に四季折々の漬物が漬けられている)昼食時入居者の手早く、手際よくつくられた南瓜コロッケを美味しく頂きながら南瓜談義に温もりが感じられた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入居者の意向を聞き毎日の入浴支援が行われている。入居者が望まれる入浴方法がとられており、入浴を拒否される入居者には対応に工夫(お湯の色や香りに配慮)され楽しい入浴支援が行われている。また入浴されない方全員で足浴と指間の洗浄を実施して、清潔の保持と水虫対策がとられている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	一人ひとりの力量や過去の経験等を把握され役割や楽しみごとの場面づくりに努められ、それぞれに合った支援方法がとられている。梅漬け・大根漬け・野沢菜漬け等四季折々の漬物や、実りの秋には柿干しづくりに精をだされ昔取った杵柄を発揮されている。買い物・散歩・行事参加等、またホームで飼われている愛犬が入居者の癒しとなっており気晴らしの支援への取り組みがされている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	馴れ親しんだ地域で暮らし続けるために毎日の楽しい散歩により地域の方々との出会いや交流により認知と理解が得られている。また継続により体力低下予防や心身の活性化を図り生活のリズムが整えられている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は入居者の日々の状態変化に留意して安全への配慮により、日中は施錠されていなかった。入居者はいつでも出入りが出来ている。ホームは既存の建物を使用しており最初から居室に鍵があり入居者が就寝時に施錠されている。夜間のみ施錠がされている事を伺った。		

グループホームつりがね草

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルにより消防署の協力を得て避難・消火訓練が行われている。なお通報や夜間呼び出し訓練も行われると共に避難場所についても地域より配慮を頂きホームに近い場所の指定をいただいている。	○	地域の協力体制についても運営推進会議において取り上げられ、検討がされている。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士のアドバイスにより入居者の希望を取りいれつつ、栄養バランスに考慮された食事の提供が行われている。水分補給についても配慮が図られ、一日の水分摂取量も把握されている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関先にある犬小屋より愛犬が顔を出し尾っぽを振って大きな声で挨拶をしてくれます。玄関には大きな壺の花瓶に柔らかなピンク色のコスモスの花が生けられ等要所要所に花々を飾り季節感が溢れ、安らぎや居心地の良い空間の演出されています。廊下や居間には入居者が作成された貼り絵・折り紙作品や入居者の思い出の詰まった写真等が飾られ、明るく、親しみと安心感のもてる空間づくりに配慮されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には入居者が馴染み親しんで使用して来られた品々(筆筒、茶筆筒、机や椅子、仏壇等)が持ち込まれている。また家族写真や行事写真等が飾られると共に使い慣れた日用品も用意され、好みの柄のカーテンを取り付け思い思いの住み心地の良い居室づくりがされている。入り口にはプライバシー保護のため、暖簾を設置し安心して過ごせる配慮に努められている。		

※ は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。